

モビリティリゾートもてぎが 「Sport Positive Awards 2026」ファイナリストに選出

サステナビリティ活動を評価するスポーツ界の国際的なアワード

ホンダモビリティランド株式会社(本社：三重県鈴鹿市)が運営するモビリティリゾートもてぎ(栃木県 茂木町)は、サステナビリティへの取り組み等が評価され、スポーツ界におけるサステナビリティの取り組みを称える国際的なアワード「Sport Positive Awards 2026」のBiodiversity Project部門のファイナリストに選出されました。

「Sport Positive Awards」は、国際的なサステナビリティアワードで、スポーツの力を活用して気候変動や生物多様性危機、環境・気候正義といった地球規模の課題に取り組む組織や個人を称えるものです。

世界中から100を超える団体・個人がファイナリストに選出されており、FIS（国際スキー・スノーボード連盟）やNBA（全米プロバスケットボール協会）、プレミアリーグのリバプールFC、マンチェスター・シティFC、アーセナルFCなど、世界を代表するスポーツ団体やチームも名を連ねています。

モビリティリゾートもてぎがファイナリストとなった「Biodiversity Project部門」は、陸上および海洋の自然と生物多様性の保全に貢献するスポーツ団体を称え、地域または世界の自然環境にポジティブな影響を与える優れた生物多様性プロジェクトを評価するカテゴリーです。

本アワードは、IOC(国際オリンピック委員会)やUNFCCC(国連気候変動枠組条約)と連携し、世界中のスポーツ団体、リーグ、イベント運営者が集う「Sport Positive Summit」(2026年10月6日、イギリス・ロンドン)で発表される予定です。

■ 生物多様性の取り組み

モビリティリゾートもてぎでは、約25年にわたり里山の保全・再生に取り組み、生物多様性の回復と維持を推進してきました。その結果、2025年時点で約5,800種の生物を確認しており、森林は継続的な管理とモニタリングにより、採餌・繁殖・越冬などを支える重要な生息環境として機能しています。

また、国際レースを開催するスポーツ施設の特性を活かし、選手や来場者への発信に加え、学校・企業・地域と連携した体験プログラムを通じて自然保全の価値を広く共有しています。これらの取り組みは、2023年に日本初のOECD認定を受けるなど国内外から評価されており、企業主体によるネイチャーポジティブの実践モデルとなっています。



HONDA
Honda Mobilityland



30by30

ホンダモビリティランド株式会社は
持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

モビリティリゾートもてぎは、環境省の定める
生物多様性の保全区域「自然共生サイト」として認定を受けました。

<ホンダモビリティランドのサステナビリティ基本方針>

ホンダモビリティランドは、サステナビリティ基本方針として「モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドを活かして、地球環境や社会課題への対応に取り組み、持続可能な未来づくりに貢献」することを掲げています。

その上で、グリーンエネルギーの活用拡大や廃棄物の発生抑制とリサイクル促進により、温室効果ガスの削減を推進し、2030年までに主要なモータースポーツイベントにおけるカーボンニュートラルの実現を目指しています。



HONDA
Honda Mobilityland

ホンダモビリティランド株式会社 Honda Mobilityland Corporation URL <https://www.mr-motegi.jp/> E-mail media@honda-ml.co.jp
モビリティリゾートもてぎ 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 TEL 0285-64-0001
Mobility Resort Motegi 120-1 Hiyama, Motegi-Machi, Haga-gun, Tochigi Pref., 321-3597 JAPAN TEL+81-285-64-0001